

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年09月01日

計画の名称	四季の魅力あふれる北東北観光活性化計画(重点)											
計画の期間	令和04年度 ~ 令和08年度 (5年間)										重点配分対象の該当	○
交付対象	岩手県											
計画の目標	岩手県と青森県、秋田県では、東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトである「9.「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在交流型観光圏の創出プロジェクト」を推進するため、「温泉」、「食」、「自然風景」等の、東北圏の「日本のふるさと・原風景」を象徴する観光資源の発掘・磨き上げ及び宿泊施設の開業・整備により、滞在可能な観光圏の創出を行う。これに合わせ、観光施設へのアクセス路線の整備を行うことにより、アクセス機能の強化等観光客が旅行しやすい環境づくりを進め誘客を推進する。観光施設へのアクセスについては、観光庁より公表されているモデルコースの1つ「四季が織りなす東北の宝コース」を軸とし、主要駅や主要部からのアクセスとなる。 本計画においては、東北圏広域地方計画の広域連携プロジェクトの推進を目的としているが、その中でも自然・歴史・文化的にも多くの共有性を有しており、「北東北三県観光立県推進協議会」を設置し連携強化を図っている 青森県、秋田県、岩手県の北東北三県で連携した計画とすることにより、効率的かつ効果的にプロジェクトを推進する。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,468	A	2,450	B	18	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	【岩手県・青森県・秋田県 共通目標】 観光拠点施設を有する市町村への入込観光客数を、約6.5%増加させる。 上記圏域における、計画期間最終年の入込観光客数(延べ人数)の三県合計値を、約6.5%増加させる。	2743万人	万人	2921万人
2	【岩手県 単独目標】 岩手県の拠点施設を有する市町村への入込観光客数を、約3.8%増加させる。 上記圏域における、計画期間最終年の入込観光客数(延べ人数) 4,098千人(R1)から4,254千人(R8)に増加 (156千人(3.8%)の増加)	409万人	万人	425万人
3	【岩手県 単独目標】 本整備計画で設定している拠点施設間の主要アクセスルートにおける所要時間を平均約2%短縮する。 【岩手県 単独目標】 主要アクセスルート所要時間 (所要時間短縮割合) = { 評価時点(R1)の所要時間(196分) - R8の所要時間(192分) } / { 評価時点(R1)の所要時間(196分) }	0%	%	2%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R04	R05	R06	R07	R08				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-001	道路	一般	岩手県	直接	岩手県	国道	改築	(国)282号 一本木	バイパス L=1.1km	滝沢市						420	1.7	-	
	A11-002	道路	一般	岩手県	直接	岩手県	国道	改築	(国)282号 佐比内	バイパス L=0.76km	八幡平市						1,680	0.5	-	
	A11-003	道路	一般	岩手県	直接	岩手県	都道府 県道	改築	(主)盛岡横手線 泉沢	現道拡幅 L=0.78km	西和賀町						350	1.8	-	
												小計						2,450		
											合計						2,450			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R04				
配分額 (a)	253				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	253				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	145				
翌年度繰越額 (f)	108				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					